

建築研究所ニュース



令和5年9月11日

開発途上国8カ国14名の研究者や技術者が、今期の地震工学通年研修（1年間）を修了し、全員が修士号を取得します。

国立研究開発法人建築研究所では、開発途上国の若手研究者や技術者を対象とした地震学、地震工学、津波防災の各分野に関する「地震工学通年研修」を実施しております。当研修は、1960年以来、実施組織の変遷はあっても60年以上に渡り実施され続けているもので、今期においても（独）国際協力機構及び政策研究大学院大学と連携して進めて参りました。本研修の内容は高度で専門的なものであり、受講及び修士論文の提出を条件に、修了後には防災政策学修士号の取得が可能になっています。

令和4年10月に開始した今期の研修では、インターネットによる遠隔講義や遠隔指導を活用してのそれぞれ自国での受講を組み合わせていた前回までの研修と異なり、全員が来日して当センターにおいて講義と指導を受け、また、阪神・淡路大震災や東日本大震災の被災地や復興の様子なども見学し、日本においてこそ実施可能な内容での研修を実施してまいりました。そして、この度参加者全員が研修を完了し、修士号を取得することができることとなりました。

閉講式には、この研修に参加した8カ国14名の研修生全員が出席します。1年間の長きにわたり国許を離れ、依然として猛威を振るう新型コロナウイルスの感染予防に留意しつつ、最後まで研修をやり遂げた研修生各人の熱意と努力に、大いに敬意を表します。

<参考：第63回国際地震工学研修閉講式の日程等>

日時：令和5年9月12日（火）11:00～

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂（つくば市立原1）

研修修了生の出身国と人数（単位：人）：

インド（1）、インドネシア（2）、エジプト（3）、コモロ（1）、
フィジー（2）、フィリピン（1）、ブータン（1）、マレーシア（3）

※ 現地取材はお問い合わせ下さい。

<その他の情報は、<https://iisee.kenken.go.jp/jp/>を参照のこと>

（問合せ先）

国立研究開発法人建築研究所
所属等 国際地震工学センター管理室長
氏名 秋葉泰彦
電話 029-879-0678（直通）
E-mail y-akiba@kenken.go.jp

裏面



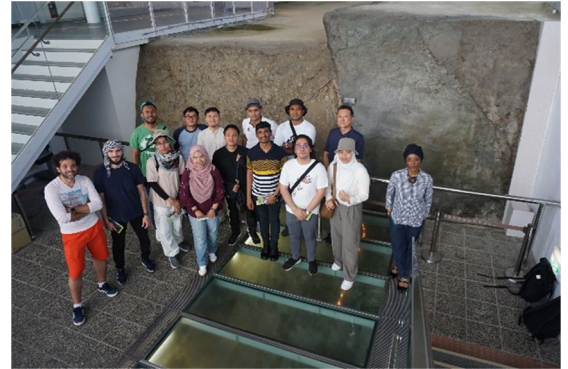
筑波山にて測定実習
(2023/3/6)



東北研修旅行 荒浜小学校
(2023/4/26)
東日本大震災の被災地見学



最終発表会 (2023/8/3)
8/3~4の2日間にわたっての開催



関西研修旅行 野島断層
(2023/8/24)
阪神・淡路大震災の体験学習



群馬研修旅行 ハッ場ダム
(2023/8/29)
講師は国土交通省関東地方整備局職員



斉藤国土交通大臣表敬訪問
(2023/9/6)